

課外ゼミ活動報告

文学散歩サークルかちかち山

顧問・指導者 近衛典子

人員二〇名 報告者 丸山玲香

〔活動報告〕

本年度、文学散歩サークルかちかち山は森鷗外記念館、鷗外旧居跡、根津神社などにてサークル活動を行った。

森鷗外記念館では鷗外の作品のほか、特別展「一葉、晶子、らいてう―鷗外と女性文学者たち」を閲覧して、鷗外の文学作品背景と共に交友関係などにも理解を深めた。根津神社では、つつじ祭りを見たほか、神社の由緒や御祭神を調べることにより歴史や文化への理解を深めることが出来た。また、小チームで庚申塔めぐりも実施した。

日本語史研究会

顧問・指導者 土井光祐

人員十四名 報告者 吉田梨紗

〔活動内容〕

本年度、日本語史研究会では、日本語史資料の口語文体と文語文体との比較を行った。その際に、問題点や疑問点を出し合い、先行研究を確認して日本語史の知識を深めた。

また、四年生の卒業論文の途中経過報告を行った。四年生に

現代小説研究会

顧問・指導者 倉田容子

人員七名 報告者 大草美優

〔活動報告〕

本年度、現代小説研究会では一年生三人を新たに迎え、活動を開始した。

前期は主に短編集『短編工場』の中の作品を取り扱った。扱った作品は宮部みゆきの『チヨ子』や、村山由佳の『約束』などである。前期は上級生が発表を行い、部員同士での議論を行った。

後期は主に、今年度新入生による発表、および部員同士の議論が行われた。星新一の短編集『午後の恐竜』より「華やかな三つの願い」や、円城塔の短編集『バナナ剥きには最適の日々』より表題作「バナナ剥きには最適の日々」といった作品を取り扱った。

とっては、互いに刺激し合いながら、卒業論文執筆に取り組む、良い機会となった。三年生以下の参加者にも、卒業論文執筆のイメージを掴む良い機会となり、有意義な時間となった。

その他、学年を越えた縦の繋がりを活かし、就職活動の体験談や卒業論文執筆の両立などについての情報も共有した。

来年度は、より活発な活動を行い、日本語史への理解を更に深めていきたい。

中世文学研究会

顧問・指導者 櫻井陽子

人員五名 報告者 村越すみれ

〔活動内容〕

本年度、中世文学研究会には一年生が新しく加わり、新体制となって活動を行った。

『平家物語』の有名な章段を読み、作品世界を知ることを目標とした。一般的に広く読まれている「覚一本」を中心とし、複数のテキストを比較することで読解を深め、作品の面白さを共有していった。担当者が資料を用意して発表をし、それに基づいて、全員で自分なりの発見や疑問をあげて、活発に意見を交換して、『平家物語』への理解を深めた。